

加藤木 真史（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 公益社団法人日本看護科学学会監修，看護ケア開発・標準化委員会編集. (2023). Part2. 各 CQ の推奨分とシステマティックレビュー，CQ2，CQ8. 看護ケアのための便秘時の大腸便貯留アセスメントに関する診療ガイドライン(pp.46-47, 71-81). 南江堂.

2 学術論文

- 1) 渡邊恵，長島俊輔，玉川淳，志村華絵，加藤木真史，佐々木杏子，森朱輝，藤田峰子，長山洋史，池田公平，五味郁子，樋口良子，福岡梨紗，岸川学，高橋恭子，水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 保健医療福祉連携, 17(1), 2-13.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 聖路加看護学会，学会誌編集委員，2018.6.～
- 2) 日本看護技術学会，評議員，2020.6.～
- 3) 日本看護技術学会，編集委員，2020.7.～
- 4) 日本看護技術学会，技術研究成果検討委員，2020.7.～
- 5) 日本看護科学学会，和文誌専任査読委員，2021.10.～
- 6) 日本看護科学学会，「看護ケアのための高齢者の便秘時の大腸便貯留アセスメントに関する診療ガイドライン」SR チーム，2021.12.～2023.9.
- 7) 日本看護研究学会，第 28 回東海地方会学術集会長，2023.3.～2024.3.
- 8) 第 25 回日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会，企画委員，2024.3.～

5 社会貢献

- 1) 東邦大学医療センター大橋病院，院内教育研修講師「看護師が知るべき『からだのしくみ』」，2023.11.6～2023.12.18.

7 学会等での活動

- 1) 水戸優子，森朱輝，長島俊輔，佐々木杏子，渡邊恵，加藤木真史，荻原典子. (2023, 10 月 14-15 日). 看護初学者の看護技術トレーニングシステムの開発と評価－AR 法と手順書法との比較－. 日本看護技術学会第 21 回学術集会講演抄録集(p.56), 熊本県.
- 2) 前田ひとみ，岡田淳子，大橋久美子，岡田忍，加藤木真史，篠崎恵美子，塚越みどり，長坂猛，橋口暢子，樋之津淳子. (2023, 10 月 14-15 日). 交流セッション 2 「質の高い論文を目指した編集委員会の活動の紹介～投稿規定及び審査制度の変更について～」. 日本看護技術学会第 21 回学術集会講演抄録集(p.113), 熊本県.
- 3) 大久保暢子，本庄恵子，小野田舞，加藤木真史，河合桃代，栗田愛，佐竹澄子，西田直子，野月千春，水戸優子，本館教子. (2023, 10 月 14-15 日). 交流セッション 3 「看護技術の成果と診療報酬化について考える～技術研究成果検討委員会の班活動の成果をもとに～」. 日本看護技術学会第 21 回学術集会講演抄録集(p.114), 熊本県.
- 4) 河合桃代，渋谷幸，東郷美香子，内山孝子，中山久美子，茂野香おる，縄秀志，佐居由美，

加藤木真史, 川嶋みどり. (2023, 10月14-15日). 交流セッション13「ニューノーマル時代に考える「気持ちよいケア」—変えてはいけない看護の本質—一緒に考えませんか?—」. 日本看護技術学会第21回学術集会講演抄録集(p.124), 熊本県.

- 5) 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023, 11月5日). 多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果: パイロットスタディ. 第1回ヒューマンサービス学会学術集会講演抄録集(pp.15-16), 神奈川県.
- 6) 加藤木真史. (2024, 3月9日). 会長講演: 研究が拓く看護技術の可能性. 日本看護研究学会第28回東海地方会学術集会抄録集(p.7). オンライン.
- 7) 基調講演「質的研究が拓く看護技術の可能性～看護師にとっての清拭の意味～」座長. (2024, 3月9日). 日本看護研究学会第28回東海地方会学術集会. オンライン.
- 8) シンポジウム「看護技術の研究・実践・教育の循環」座長. (2024, 3月9日). 日本看護研究学会第28回東海地方会学術集会. オンライン.

8 学内教育活動

1) 学部

看護学原論, ヘルスアセスメント論, 看護技術論Ⅰ, 看護技術論Ⅱ, 看護技術論Ⅲ, 基礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅱ, 基礎看護学実習Ⅲ, 問題に基づく学習法(PBL), 看護倫理, 臨床看護応用演習, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院

博士前期課程: フィジカルアセスメント, 基礎看護学特論, 基礎看護学演習.
博士後期課程: 包括支援看護特論.

3) 実践教育センター

看護教育方法演習(アクティブラーニングの実際 シミュレーション).

9 学内各種委員会活動

- 1) オープンキャンパス委員会, 2022.4.～
- 2) 2年次クラス担任, 2023.4.～

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 加藤木真史研究代表者. 内科的治療を受ける入院患者への生活行動に基づく新たな離床看護プログラム開発と評価. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究, 4,160千円, 2018.4.1～2024.3.31.
- 2) 加藤木真史研究代表者, 加藤京里, 栗田愛, 菅原啓太, 長島俊輔. 2週間の排便日誌から排便パターンを分類する新しい看護アセスメント方法の確立. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 4,030千円, 2022.4.1～2026.3.31.

12 受賞

- 1) 日本看護技術学会第20回学術集会最優秀賞(2023, 10月14日表彰).

亀田典宏，縄秀志，佐居由美，加藤木真史，樋勝彩子，鈴木彩加，鹿股美奈子．パートナーシップに基づく市民主体型便秘改善プログラムの評価－自覚症状と腸内環境による検証－．

2) 神奈川県立保健福祉大学学長表彰（2024, 3月19日表彰）.

受賞業績「学生との協働による新たなオープンキャンパス運営他，入試関連業務の遂行」